

平成 18 年度学術ポータル担当者研修レポート

昌子喜信（受講者番号 16） 島根大学学術国際部図書情報課
福山栄作（受講者番号 17） 島根大学学術国際部図書情報課

1 発表資料の状況設定

役員、部局長で構成される部局連絡協議会において、機関リポジトリの推進が承認され、また機関リポジトリ運営指針も同協議会で承認されている。機関リポジトリにコンテンツを提供する学内教員の幅広い理解を進め、学内の合意形成を促進する目的で、全教員を対象とした「島根大学学術情報リポジトリ」の導入説明会を開催することになった。今回の説明会は理系部局の教員を対象にしたものである。なお、この段階では、まだリポジトリシステムは未構築である。

2 発表内容

(1) 抄録

前半部分で、島根大学学術情報リポジトリの概要説明を行い、後半部分でシステムの構築状況の説明及び先行大学の事例の紹介を行った。

前半の概要説明においては、機関リポジトリを運用することのメリット、国内外の機関リポジトリの公開状況、島根大学学術情報リポジトリの概要、著作権についての国内外出版社等の状況、コンテンツ登録の流れ、今後のスケジュール等について説明した。

後半のシステムの構築状況の説明においては、プロトタイプ・システムを使ってデータの入力方法のデモンストレーションを行った。また、既に機関リポジトリを公開している大学の事例を紹介した。

(2) 研修当日の講師からの助言

特になし。

(3) 研修発表内容からの改訂部分

- ・島根大学学術情報リポジトリの概要説明図を作成し、視覚的に分かりやすくした。
- ・「島根大学学術情報リポジトリ運営指針」を策定したことを受けて、登録するコンテンツの種類を運営指針に基づいたものにした。
- ・登録の流れについての説明を詳細にした。
- ・スケジュールを付した。

3 リハーサル・プレゼンの概要

- (1) 日時：2006 年 10 月 25 日（水） 13：30～14：45
- (2) 場所：島根大学附属図書館会議室
- (3) 発表者：昌子喜信、福山栄作
- (4) 発表対象：学術国際担当副学長（附属図書館長）、図書館職員
- (5) 参加者数：20 名

4 リハーサル・プレゼンへの反響

(1) 質疑応答内容等

リハーサル・プレゼンに対して出された主な意見、質疑応答内容は次のとおりである。

○説明の中で PDF ファイルを登録するとあったが、出版社版の PDF ファイルをイメージするので、著者版の PDF ファイルであることをはっきりと説明する必要がある。

- 原稿ファイルを PDF 化するのは大変である。通常、出版社に提出する原稿は、本文、図・キャプションが別のファイルになっているケースが多く、一つの文書として PDF 化するためには、レイアウトを整えるなど負担も大きい。誰でも簡単に PDF 化ができるしくみを用意すべきである。MS-Office の次期バージョンでは、文書の PDF 化機能が標準でついているため、このようなソフトの使用環境を整えることや、紙媒体の原稿をスキャンして PDF ファイルを簡単に作成できるコピー機を用意するなどの環境を整備することが必要。
- リポジトリへのコンテンツの登録に対して、方針が未確定の国内の出版社・学協会に対しては、個々の論文について許諾を得る方法ではなく、島根大学としての包括的な許諾を得るような方法をとるべきである。
- 著者最終原稿を登録するという事だが、登録されたコンテンツのレイアウトがまちまちになるのは構わないか？ → レイアウトがそろわないのはやむを得ない。本文、図・キャプションが別々に作成されているケースでは、本文中に図、表等の挿入位置を明記し、図・表等は末尾にまとめて付ける形でよい。
- 登録したコンテンツに学外公開／学内限定公開／非公開の条件を付することができるということだが、「非公開」とするのはどういう場合か？ → 特許に係る情報を含むようなケースである。
- 出版社とのトラブルは起こらないか？ → トラブルが起こらないように、公開前に許諾条件などを図書館において確認するようにしたい。
- 退職、学外への異動の場合、本人の申し出により登録したコンテンツの削除が可能か？ → 基本的に削除は認めない。

(2) アンケート集計結果

I プレゼンテーション全般

	良かった	どちらともいえない	悪かった
発表者の態度	10	1	0
声は聞き取りやすかったか	8	3	0
説明は分かりやすかったか	8	3	0
プレゼンテーション全般について気づいた点	説明は分かりやすかったが、「具体的などころをもっと知りたい。」となると不十分。たくさん登録してもらうためにも、具体的名利用法・登録法をさくっと説明して、「簡単だからやるかー」と思わせるようにできたらいいと思った。		
	もう少しゆっくりと説明した方がよい。		
	先生が実際に登録される場所は、具体的に操作してあげるとよいと思った。		
	説明をもう少し（ほんの気持ちだけ）ゆっくり、はっきり。		

II 説明内容について

	理解できた	どちらともいえない	理解できなかった
リポジトリとはどういうものか理解できたか	11	0	0
リポジトリに自分の研究成果を登録することのメリットを理解できたか	9	2	0
リポジトリに研究成果を登録するにあたっての著作権の問題について理解できたか	4	5	1
研究成果の登録の流れについて理解できたか	5	6	0

説明内容についての疑問点・不明な点	登録のメリットはどのように登録者へ返ってくるのか？利用されたコンテンツのランキングみたいなものが、島大リポジトリ内でわかるのか？
	教員の作業、図書館スタッフの作業の境界がはっきり分からなかった。
	登録の流れをもう少し詳細に話して欲しい。
	登録するにあたって、もう少し詳しい説明が欲しい。

Ⅲ その他（全体的なコメント等）

図書館の責務が大きい（許諾等については研究者はアテにならない。）
期間の管理
本番がんばって下さい。

5 その他

(1) 今後の予定

今後、システム構築を早急に進め、大学評価情報データベースとの連携部分を完成させた後に、部局別に全教員を対象にした説明会を開催する予定である。